

< 学校長挨拶 > **新年度の教育活動の充実を目指して** 学校長 丸 昇
4月6日に第22期生入学式で30名(男子4女子26)の新入生を迎え、平成27年度がスタートしました。期待と不安が覗く表情の新入生に、「心豊かな常識人であれ」と申しましたが、地域の医療に貢献する看護師になるための厳しい道のりの中、何より基本となる人間性、素養を身に付けて欲しいとの願いを込めました。

さて、今日の社会は、「PC 万能」の様相で、携帯電話、特にスマートフォンの機能が人間本来の行為にとって代わる状況にさえあります。学生は、高度情報機器に素早く順応する長所がある反面、極近くの友人とも「スマホ」のメールで対話するなど、ともすると直接的なコミュニケーションを避ける傾向があり、それは看護師になる者に必要な資質・能力を養う上で決して看過することのできないことであると考えられます。

一人一人の学生が、確かな医療・看護の知識を持ち、患者様との温かい人間的な触れあいのできる、愛され信頼される看護師として巣立つためには、このような学生の「現代的な課題」を着実に解決するための教育内容・方法の充実が求められています。

本年度学校運営の課題解決の具体策に『教育指導の改善・工夫』～「教育は人なり」を挙げ、今日の学生のよさと共に課題を十分に受容し、学生の側に立った厳しくも優しい効果的な指導の充実を図ることとしております。勿論、一朝一夕に前進するものではなく、全教職員が一丸となって相互に評価・反省し合う中、日々一歩ずつの教育指導の向上を目指してまいります。今後とも温かなご支援・ご協力をお願いいたします。

祝 入 学 「入 学 生 の こ と ば 」

入学してから1ヶ月が経ちました。毎日が不安な日々でしたが、今では先生や先輩、同級生に支えられ、楽しく学校生活を送っています。想像以上の授業の早さに戸惑うこともあります。そしてこれから、よりたくさんの看護師になるための必要な専門的な知識や技術を学んでいきます。その膨大な量に負けずに頑張っていきたいです。日々勉強できることや自分の周りに感謝して看護について学びたいです。国家試験に合格し、卒業して看護師として勤めることができるようになったときに、学校や実習先で学んでいく専門的な知識や技術だけでなく、看護師として社会に貢献できる人になりたいです。

22期入学生 菊地 聖太

期待と不安の入り混じった複雑な気持ちで迎えた入学式から1ヶ月経ちました。入学してすぐは同じ高校出身の人としか話せませんでした。宿泊セミナーを通して色々な人と話すことができました。宿泊セミナーでのグループワークは、まだぎこちなかったのですが、どんどんみんなが仲良くなっていくにつれて自分の意見を出しやすくなり、最近ではスムーズにグループワークを進めることができるようになってきたと感じます。30人と少ない人数ではあると思うのですが、30人だからこそその良さもあると思うので先生方や先輩方の力を借りながら、3年間看護師になるためにお互いを高めあいながら頑張っていきたいと思います。

22期入学生 栗原 唯

・・・ SCHEDULE ・・・ 4/1~6/5の行事・動向

4/6(月)第22期生入学式 <4/9~10 1年宿泊セミナー(ハイランドふらの)>
4/13(月)~15(水)ツ反・健康診断(1年)健康診断(2、3学年)
4/16(木)平成27年度総合実習指導者会議(本校視聴覚室)
4/24(金)平成27年度第1回就職説明会(全学年) 4/30(木)避難訓練
5/1(金)看護の日行事~市内2病院、4施設訪問(「あ・ん・て・な」に概要掲載)
5/11(月)2年老年実習(施設) 3年小児実習(施設)開始(~5/15金)
5/18(月)3年実習1クール目(~6/5金) 6/4(木)市内施設見学(1年)

耳よりヘルシー HEALTHY トピックス

「朝食抜きは高リスク」・・・早起き、朝ご飯の習慣を!

札幌市の調査によると、20~30代の男性の約4割、同女性の約3割弱が朝食抜きの状態。専門家は、「朝ご飯と光を浴びることで交感神経にスイッチが入り、体が目覚める。摂取するブドウ糖が脳を活性化させ体温を上昇させる。」とし、朝食を抜くと昼食時に飢餓状態の体が栄養を欲して血糖値が上昇し、それを正常に戻そうと膵臓から多くのインスリンが一気に分泌される。これが長年続くと膵臓が疲弊し糖尿病発症につながる恐れがあり、「20、30代から肥満などの“助走”期間が始まる。朝食抜きは大きな問題」とする。

朝食は、ご飯・パンなどの糖質、肉などのタンパク質、野菜などを揃えることが理想であるが、まずは、朝食をとる習慣が何より大切だ。 <出典 道新 H27.4.1 [生活](#)>

+++

あ・ん・て・な

ANTENNA

+++

「患者様、利用者様に楽しい一時を!」・・・看護の日行事の実施

5月1日(金)は、全学生が6グループに分かれ、寿光園、老健ふらの、デイサービスセンターいちい、富良野協会病院、ふらの西病院 北の峰ハイツを訪問し、手作りのゲームや歌、楽器演奏、ささやかなプレゼントなどで患者様・利用者様に喜んでいただくよう頑張りました。各会場では3年生、2年生の指導のもと、1年生は初めての臨床現場体験に緊張や戸惑いを感じつつ、事前準備やリハーサルの成果を生かし一生懸命に患者様・利用者様との触れあいを深めていました。例年、各訪問先病院、施設の関係者の皆様には、ご多忙のところ本校企画の受け入れに快くご協力・ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。(「看護の日」:フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ5月12日と制定されています。)

ささやき S&T ・・・ 学生の 教員の みんなの声

S: 連続実習が始まりました。まだ実感が沸いていません。今回の幼稚園実習では園児達にたくさんの元気ももらいました。この気持ちを忘れずに6クール頑張りたいと思います。(3年 Y・S) S: 施設実習を終えて、皆が多くの学びを得たと思います。この後は試験病院実習 スポ交とやることが多く大変ですが、クラスの仲間と切磋琢磨して乗り越えたい今日この頃です。(2年 工藤 恵) S: 入学してからあっという間に一ヶ月がたちました。旭川から通っているということもあり最初は大変でしたが、今の生活にも慣れ楽しい学校生活を送れているので三年間頑張っていきたいと思います(1年 中田亜季)

T: 新緑と日差しがまぶしい季節になり、新入生も学校生活に慣れ、上級生は実習で頑張っています。全員で目標に向かって一歩ずつ歩みを進めて行けますように。(教務課長 鈴木恭子)